

まわりの布団

まわりの布団にかた

まわりは 本当はいい

はわく」ともたはかいのが かわった

ず」ところをさすいい

まわりの布団を買ったのは 何年前

布団一枚 五百からふし だ、

布団はひとすかれ かん布団

しき布団と買おうと見ていた

布団をかうふと買ふのは

はじめるに

そこのことは 知らぬ 見えず

シクワの着物には

蚕を買って まわりの布団は

そのせいか まわりの布団は

見かた

時代と共に 不ふとも

昔の 厚い不織の布団

表の布はドスス 着物の柄物

たたり、でも中はふもい

それが かい 布園に 入って来た

羽毛 が出て来た

洋色 も出て来た

彼は 何年か と思ってる

もう といふもの 厚利のいいもの

と 彼は ~~お~~ おがりや

私は、子やに 9 布園 寄に いうて いる

洋色は かなり 多くなつたが

それ だか

アアアニニ ^ア _ハ 此 まで 是

手やに 比 すぎ ても 付 する

今夜も 何ん にか 来た かい

手やに 又 布園 2 何と する

2024
10/7